

障害者雇用の促進と社員満足度向上を図るカフェスペースの設置 ～超短時間労働の業務創出から始める本業のキャリアへの接続～

○工藤 賢治（株式会社ゼネラルパートナーズ 事業サポートグループ シニアコンサルタント）
○長尾 悟（株式会社JBSファシリティーズ ダイバーシティ・マネジメント事業部 部長）

1 はじめに

(1) 会社概要

株式会社ゼネラルパートナーズ（以下「GP」という。）は、障害者雇用支援サービスのパイオニアとして21年以上にわたるサポート実績を生かし企業様の障害者雇用における幅広いサービスをご提供。自社でも多数の障害者を雇用し、直近の障害者雇用率は14.65%。GPは「社会問題の解決」を起点に事業を創造している。前向きで意欲がありながらこれまでチャンスを得られなかった人が、持てる能力を発揮し、活躍できる機会を創り出している。

設立：2003年4月9日 社員数：290名（2024年6月1日時点）障害者雇用率：14.65%（2024年6月1日時点）

事業内容：障害者雇用の総合コンサルティング事業、求人情報事業（atGP）、就労移行支援事業（ジョブトレ、ジョブトレIT・Web）、就労継続支援A型事業（しいたけ生産事業 アスタネ）

(2) 企業理念



ゼネラルパートナーズという社名は、「広まっていく」を意味する『General』、「仲間たち」を意味する『Partners』を組み合わせでできている。ロゴマークは、多種多様な色と形をした複数のブロックを組み合わせでおり、人（GP JIN）、事業、社会問題を表現している。自由自在に組み合わせさせて、成長し続けていく会社であることを表している。

GPビジョン（活動した先にある未来）：
誰もが自分らしくワクワクする人生

GPコア（不変の存在意義）：
社会問題を解決する

GPアクション（実現に向けて実行すべき活動）：
不自由を解消する事業を通じて、今までにない価値と機会を切り拓く

GPエンジン（原動力となるエネルギー）：
挑戦・成長し続ける個人×多種多様なチーム

GPカルチャー（よく口にしていること）：
やってみよう、楽しもう

2 障害者雇用における課題

(1) 雇用率の急激な上昇

- ・2024年4月に0.2%上昇し2.5%に
- ・2026年7月にさらに0.2%上昇し、2.7%に
- ➡2年4ヶ月余りの間に0.4%の大幅な上昇。多くの障害者を新規に雇用する必要がある。

(2) 採用難易度の上昇

- ・障害者を採用する企業が拡大（従業員数37.5名以上）
- ・障害者の採用数が増加
- ➡企業が自社にマッチすると思う人材が減少してきている。活躍できる方を見つけることが難しくなっている。

(3) 配属先・任せる仕事の困難さ

- ・現場の理解を得づらい
- ・障害者にやってもらう仕事がない
- ・精神障害者の現場受け入れはハードルが高い
- ➡現場の理解を得るために、一定の時間を要する

(4) 国会閣法第17号 附帯決議

（抜粋）単に雇用率の達成のみを目的として雇用主に代わる障害者雇用代行ビジネスを利用することがないように、検討すること
➡意味のある障害者雇用が求められている

3 三方よしの企業内カフェの可能性

(1) GP企業内カフェのコンセプト

「社員満足度向上」×「障害者の戦力化」を目標に、社員満足度の高いカフェサービスで障害者雇用のポジションを創出。精神障害者保健福祉手帳所持者を短時間で雇用することにより、短期での雇用率達成を目指します。

現場：企業内カフェでの接客を通し、雇用障害者を知る
人事：現場で雇用できるかの人選が可能
本人：短時間、且つ簡単な接客から始められ、無理なくステップアップが可能。現場配属の自信を得られる。

(2) GP企業内カフェのポイント

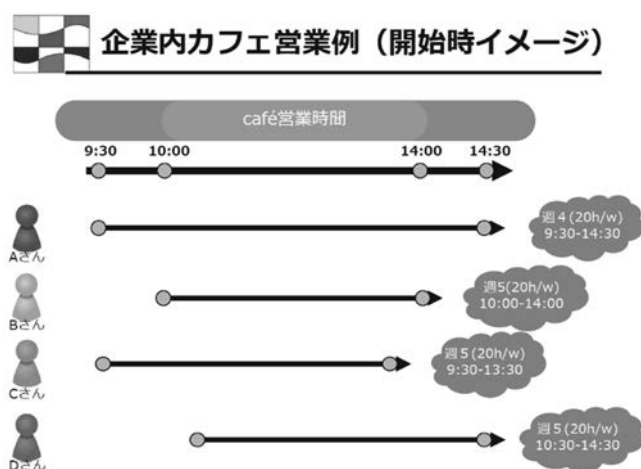
1. 他部門との調整不要、人事総務部門で完結
2. 業務の準備（業務切り出し）が不要
3. 余剰スペース（3～6畳程度）で設置可能
4. 短時間就業に対応（4～6時間勤務を推奨）

- 雇用数4人程度を確保
- 自己信頼を高め、受け入れ側も習熟（バーの緩和）
- 能力発揮とキャリアアップ（意味のある雇用）
- 障害者の認知向上（将来的な現場採用の布石に）
- 手厚いワンストップサポート（店長派遣も可能）

※JBSファシリティーズ社（就労継続支援B型事業所でカフェを運営）と連携し、貴社に合ったカフェの提案・運営支援が可能。

障害者の自己信頼を高めることと、ショーケース的な役割で受け入れ側のハードルを下げることで、社内に障害者の理解を促進させる起点とかきかけの場を創る。

(3) GP企業内カフェ開始時のイメージ



(4) GP企業内カフェサービスイメージ

カフェ営業時間：10時～14時（4時間営業）

営業日：月曜～金曜

場所：貴社、余業スペースを利用（3～6畳程度）

勤務者：障害者4名（短時間勤務）、店長（健常者）

対象障害者：精神障害者、発達障害者

※店長人材（接客・障害者支援経験者）派遣も可能

カフェ MENU		
レギュラーコーヒー	HOT	100円
アイスコーヒー	ICE	100円
カフェラテ	HOT	180円
カフェラテ	ICE	180円
カプチーノ	HOT	150円
ホットミルク	HOT	130円

4 障害者雇用のあるべき姿

- ・求められる雇用を。必要な仕事を必要な人に
- ・職業準備性は担当業務や働き方によって異なるもの
- ・障害者と共に働く場を
- ・働くことでしか自信を得られない方に対して、ステップアップできる場を

5 GP企業内カフェで実現したいこと

就業機会を得られていない精神障害者と発達障害者に雇用の場を提供する。企業内カフェがゴールではなく、その先の雇用企業の本業に関わる仕事を担うことである。精神障害者と発達障害者の雇用を阻害しているのは、精神障害者と発達障害者に対する理解不足が大きく、普段から顔を合わせ、ちょっとした会話をすることで壁がなくなり、同じ会社で働く同僚になり、「（精神）障害者」ではなく、「〇〇さん」と認識してくれるようになる。障害者雇用支援サービスのパイオニアとして無理解や偏見のない世の中の実現を目指したい。

【参考文献】

衆議院 第210回国会閣法第17号 附帯決議「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」

【連絡先】

工藤 賢治（株式会社ゼネラルパートナーズ）

e-mail : kudo@generalpartners.co.jp

企業HP : <http://www.generalpartners.co.jp/>